



令和8年度 金津東小学校スクールプラン

教育目標

感動と創造の教育

～ 進んで学び、思いやりのある、ねばり強い子の育成を目指して ～

協力

思いやりの心で力を合わせて生きる

創造

考えて工夫し前向きに生きる

健康

心身ともに健康で明るく生きる

めざす児童像

① 幅広い心で助け合う子

② がんばって考え、やりぬく子

③ しっかり体をきたえる子

《重点目標と具体的な取組》

【福井県が目指す教育の姿】
一人ひとりの個性が輝く、
ふくいの未来を担う人づくり
個性を「引き出す教育」
学びを「楽しむ教育」
「ふるさと教育」

【あわら市教育基本理念】
『ふるさとあわらを愛し
一人一人が夢や希望を持ち
個性が輝く教育』

【本校児童の強み】
・明るく元気
・友だちのよいところを見つけたり優しくしたりすることができる児童が多い
・清掃に一生懸命取り組む
【さらに向上するために】
・SNS 利用のルールを守る
・場に応じた言葉遣い
・自分の考えや思いを表現する

徳「豊かな心」の育成	知「確かな学力」の育成	体「健やかな身体」の育成	家庭・地域との連携「信頼される学校」
◎規律と思いやりのある温かい集団づくり ・児童の自己肯定感や自信を高める工夫（ペップトーク、ポジティブ教育の活用など） ・特別活動（児童会など）、縦割り活動、異学年交流、SST、あいさつ運動などの充実 ・Q-Uの分析と活用 ◎心の力を伸ばす ・道徳授業、人権教育（人権集会等）の充実 ・家庭との連携（「子育て研修」の実施など） ◎「学校が楽しい」安心できる居場所づくり ・特別支援教育の充実 ・児童理解や教育相談による安心して過ごせる学校・学級づくり（毎日の見守り、「ふれあいトーク週間」をもとにした面談、SC・SSWとの連携）	◎主体的・協働的に学ぶ力を育てる ・自ら課題や問いをもち、考え抜く力 ・考えを整理し、「見える化」して表現する力 ・互いに考えや思いを伝え合い、学び合う力 ◎基礎基本の習得と定着 ・児童一人一人の基礎学力向上（反復学習やチャレンジテスト等の取組） ・語彙力、情報読解力、探究力の育成 ◎読書習慣の形成 ・朝読書、読み聞かせ等で読書に親しむ習慣をつけ、学校や家庭で自ら進んで読書する態度を育成 ◎「引き出す」「楽しむ」教育の推進 ・児童一人一人が、わかる喜びや感動を実感できる授業づくり（課題設定と学習環境の工夫） ・情報活用能力の向上（ICTの効果的な活用など）	◎東っ子 パワーアップ ・体育と業間運動を連携させた体力づくり（運動量の確保と技能の向上） ・目標をもって主体的に運動する態度の育成（ねばり強く努力する心） ◎将来にわたって健康な身体の基本づくり ・基本的な生活習慣の確立（家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の定着など） ・保健学習、食育の推進による健康的な生活習慣づくり（学校保健委員会、目の学習、栄養教諭訪問） ◎学校内外における安心・安全の確保 ・自他の「命」を守る意識の定着 ・危険回避能力の育成（交通安全教室、防災避難訓練等） ・自己の生活を見直し、改善する習慣の育成（スマートルール、インターネット活用など）	◎家庭との連携 ・児童の健やかな成長を支えるための家庭との情報共有 ・「東っ子スマートルール」をもとにした、インターネット利用等に関する家庭でのルールづくり ◎開かれた学校 ・「東っ子を育てる会」による教育諸活動の検証 ・保護者や地域への積極的な情報発信（学校公開、各種だより、PTA活動、Home & School、ホームページ等） ◎学びのつながりを重視 ・こども園・中学校との連携（授業参観や訪問等による定期的な情報交換） ◎ふるさと教育の推進（体験学習の充実） ・ふるさとを題材にした体験活動の実施（地域人材、環境資源、地元企業等の活用） ・ふるさとを愛する心、地域に貢献する心の育成

《数値目標》

・「学校が楽しい」と答える児童（90%以上） ・友達や先生、地域の人に対してあいさつができる児童（90%以上） ・自他を尊重し、相手を思いやる言葉がけや行動ができる児童（90%以上）	・授業や学校活動の中で「自分の考えや思いを表現しようとする事ができる」児童（90%以上） ・「授業がわかる」と答える児童（90%以上） ・「読書が好き」と答える児童（85%以上）	・めあてをもって運動に取り組む児童（90%以上） ・規則正しい生活習慣を身につけさせよう意識する保護者（90%以上） ・年度内に交通安全教室、防災訓練、引渡訓練、不審者対応研修を各1回以上実施	・学校が教育活動や児童の様子を適切に発信していると感じる保護者（90%以上） ・「東っ子スマートルール」を理解し、家庭で決めたルールを守らせている（守らせようとしている）保護者（90%以上） ・地域に興味をもち、「ふるさとが好き」と答える児童（90%以上）
---	---	--	--

《働き方改革の推進》 ・校務運営の効率化、デジタル化、生成AIの活用による事務負担軽減 ・外部機関との迅速かつ効果的な連携（SC・SSW等） ・時間外勤務45時間以下/月の職員数前年度比増